

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>
--

<p>施策番号</p>	<p>【1】 男女共同参画の視点に立った教育、保育の推進</p>
-------------	----------------------------------

<p>施策の内容</p>	<p>子どもが発達段階に応じて人権尊重や男女共同参画への理解を深めることができるよう、男女共同参画の視点に立った学校運営や教育、学習、保育を充実させます。</p>
--------------	---

11		数値目標	現状値	H29	H30	R元	R2	R3	目標値
担当課	幼保運営課								
R2事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 日々の保育において人権尊重や男女共同参画の視点に立ち、一人ひとりを大切にされた教育・保育を進めていく。 人権や男女共同参画に関する研修等に積極的に参加し、園・所全体の意識向上につなげる。 人権課と連携を取りつつ保護者参加の家庭教育講座の開催など積極的に行っていく。 								
R2事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 人権や男女共同参画に関する研修に参加し理解を深める。。（年間1回以上参加） 子どもたちの年齢に応じて、人権(生命の尊さ、障がい、異文化、男女など)について、日々の保育の中で様々な場面を捉えて分かりやすく伝えていく。 男女共同参画のモデルとして、全施設において向上に努め、保護者への啓発に力を入れていく。 								
R2事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 人権や男女共同参画に関して、オンライン・対面・書面など様々な研修方法を用いて年間1回以上参加した。 日々の保育において、一人ひとりのよさや可能性を大切に丁寧な保育を進めた。 								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> 発達年齢に応じた取り組みを継続し積み重ねていくことでその取り組みが生かされてきている。 全職員が研修を受けることで、同じ認識をもち意識が高められている。 一人一人を大切にされた日々の保育を通して、子どもの人権意識や男女共同参画の視点に立った取り組みがなされている感じる。 								
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> 取り組み内容がマンネリ化しないように、最新の情報を収集して生かしていく必要がある。 職員や子ども・保護者など、全体に広がるように工夫していく。 								

12		数 値 目 標						
担当課	学校教育課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点をもった環境整備や指導についての参考資料を作成し、校長会等で配布する。 ・各学校における人権に関する課題を学校と教育委員会が連携しながら、解決できるよう連携を密にする。 							
R2事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の年間計画の中に男女共同参画の視点を含む活動を取り入れ、定期的に振り返りを行うよう指導することで、教職員の意識を高める。 ・課題が生じた時には、各学校を訪問し、教育委員会を中心に各関係機関と協力し問題解決をしていく。 							
R2 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会や教頭会において、セクシュアル・ハラスメントの防止について指示・指導を行った。 							
目指すま ちの姿に 対して、 事業実 施により 得られ た効果	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校において、管理職だけでなく、学校全体の教職員が男女共同参画に対する意識が高まった。 							
事業の実 施状況 を踏ま えた課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒・教職員が日常において男女共同参画に対する意識をもち、浸透させることが課題。 							

施策の 内容	教職員や保育士が、男女共同参画の理念とジェンダーに関する理解を深められる機会を提供します。							
-----------	---	--	--	--	--	--	--	--

13		数 値 目 標						
担当課	幼保運営課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園・こども園の保育者が研修等に積極的に受講できるよう配慮することにより、男女共同参画の理念とジェンダーに関する理解を深めていく。 							
R2事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の理念とジェンダーについての理解と認識を深める研修を実施する(2名以上) ・ジェンダーに関する研修に職員が参加するとともに、身近なこととして捉えるためにジェンダーに関するテーマで園内研修を実施する。 							
R2 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・文書資料を配布し、園内研修において話し合う機会をもった。 ・コロナ禍においても、各園で人権研修や集会を行い、職員や子ども達の意識向上に努めた。 							
目指すま ちの姿に 対して、 事業実 施により 得られ た効果	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、理解と認識を深めながら保育が進められている。適切な理解は保護者においても浸透してきている。 ・男女共同参画モデル園であった垂水こども園では子ども達と職員に向け「誕生学」の講座を取り入れた。保護者に対してはYouTubeにて配信。命の神秘や大切さをそれぞれの立場で考え合い、犯罪予防にもつなげている。 							
事業の実 施状況 を踏ま えた課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に研修会をし、職員全体の意識向上につなげていく。 ・自身の言動について常に振り返り、正しい認識のもと積極的に取り組んでいく。 ・毎年各園で行っている人権集会だが、今年はコロナの影響で保護者の参加を呼びかけられなかったことが残念である。園での取り組みを保護者に伝える方法を見直していきたい。 							

14		数 値 目 標						
担当課	学校教育課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員を対象にした男女共同参画やLGBTに関する研修や指導を行う。 ・パンフレット等を配布し啓発を行ってだけでなく、パンフレットの内容について現職教育の時間に協議するなど実践を行うように周知する。 							
R2事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画やLGBTに関して教職員が幼児・児童・生徒に指導できるよう、研修の内容を工夫する。 ・LGBTに関する協議や、実践活動を積極的に行うことで、さらに理解を深めることができる。 							
R2 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・丸亀市人権同和教育主任研修会において、LGBTに関する研修を行い、人権・同和教育主任から各小中学校の教職員への周知・確認を行った。 ・管理職を対象にした性的少数者との意見交流会を人権課と連携して実施し、対象の児童生徒への対応等への理解を深めた。 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の実施により、管理職を通して教職員のジェンダーに関する知識が深まってきた。 							
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の知識や理解を深めていくために、LGBTに関する研修を今後も実施し、具体的な対応や指導につながる資料を作成・配布していく。 							

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

《目指すまちの姿》

家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。

施策
番号

【1】 男女共同参画の視点に立った教育、保育の推進

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
幼保運営課長	B⇒ B	コロナ禍ではあったが、オンラインなど様々な方法を用いて園内研修を行い、人権尊重やジェンダーへの意識向上を高めることができていた。また、日々の保育においても、一人ひとりのよさや可能性を大切に丁寧な保育を進めることができています。 コロナ禍のためできなかった家庭教育講座などの企画も継続して行い、現在はお便りなどで啓発を行っている。
学校教育課長	B⇒ B	校長会や教頭会において、セクシュアル・ハラスメント防止や、学校現場における相談窓口を、児童・生徒・教員の別に設けるよう指導することで、課題に対して素早く対応できるようになってきた。また、性的少数者への理解を深める交流会を実施することで、ジェンダー平等や男女共同参画社会への認識を高めることができた。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評を参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>
--

<p>施策番号</p>	<p>【2】 男女共同参画の視点に立った進路指導、キャリア教育の推進</p>
-------------	--

<p>施策の内容</p>	<p>子どものころから、家庭生活を基盤とした人生設計と、生涯の仕事やキャリアについて学び、考える機会を提供します。</p>
--------------	---

15		数値目標						
担当課	学校教育課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校高学年におけるキャリア教育では、多種多様な職業があることを知るための機会を設ける活動を年間指導計画に位置付け、前向きに将来を考えていけるようにキャリア・パスポートを活用することを、各校に指導する。 ・中学校では、職場体験において、男女共同参画の視点を取り入れた事前や事後の指導の時間を確保するように指導する。 							
R2事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校では、男女共同参画の視点を取り入れた仕事についての意識が高まる。（16校） ・中学校では、事業所訪問や職場体験活動における、事業所選択の際に男女共同参画の視点が意識できる。（7校） 							
R2事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校において職場体験活動を年間計画に位置付け、実施（2校）するだけでなく、事業説明会に参加（1校）し、職業選択の幅を広げるように指導した。 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒が自立に向けての基盤となる資質・能力の育成に向け学ぶ貴重な機会を得ることができた。 							
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場に対し、各学校の実情に応じた中で積極的な働きかけを行っていく必要がある。 							

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>
--

<p>施策番号</p>	<p>【2】 男女共同参画の視点に立った進路指導、キャリア教育の推進</p>
-------------	--

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
<p>学校教育課長</p>	<p>B⇒ B</p>	<p>中学校（3校）で事業説明会や事務所訪問や職場体験学習を行うことができ、そのねらいのなかに男女共同参画の視点を取り入れるよう各学校に周知・指導を行うことで、男女共同参画の視点に立った進路指導やキャリア教育の充実を図ることができた。</p>

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	<p>今回、施策実施評価は省略しました 総括講評を参照してください</p>

※担当課長、審議会による評価基準

- A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

《目指すまちの姿》
 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。

施策番号	【3】 男女共同参画の推進に向けた学習機会の提供
------	--------------------------

施策の内容	男女がともに、社会の様々な事柄を男女共同参画の視点で理解し、豊かに生きる力を養うことができるよう、また、家庭や地域において、男女共同参画の視点を持って子どもを教育することができるよう、情報や学習機会を提供します。								
	16	数値目標	《指標》 男女共同参画を推進する講演会や講座、セミナーなどの開催回数 ※()は当該年度の目標値						
担当課	人権課男女共同参画室		H28	H29	H30	R元	R2	R3	目標値
			年6回	(年8回) 年10回	(年8回) 年7回	(年9回) 年8回	(年9回) 年5回	(年10回)	年10回
R2 事業計画	①男女共同参画セミナー（テーマ：女性、多様な人々の視点を活かした災害対応～継承していく意識～）の開催 ②男女共同参画モデル保育所による取り組みへの支援								
R2事業計画に関する具体的な目標	①避難所運営における男女共同参画の視点の重要性をDVDを活用し啓発する。避難所運営マニュアルが完成していれば、男女共同参画の視点が加味されているかチェックする（5コミュニティで開催） ②男女共同参画モデル保育所での男女共同参画講演会開催1回。男女共同参画モデル保育所の活動紹介を市ホームページなどで3回以上実施。								
R2 事業実績	①飯山南コミュ（R2.11/11）、土器コミュ（R2.11/14）にてセミナー開催。土器コミュでは完成したばかりの避難所運営マニュアルを男女共同参画の視点からチェックした（チェック箇所をセミナーで伝えた） ②垂水こども園にて家庭教育講座を実施（R3.1/22）したが、コロナ禍のため保護者不参加となった。そのため、講座内容を動画にて限定配信（R3.2/1～2/14、3/8～3/31）。191件の視聴があった。HPでは2回情報をアップした（フェイスブック）								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	避難所運営マニュアルを実際作成されたコミュは数か所である。そのうちの1か所、土器コミュニティからマニュアルチェックの依頼をされ、講座及び講評をさせていただき、他のコミュニティへのマニュアル作成・講座実施の波及効果が期待できる。また、コロナ禍における研修見送りの中、ユーチューブ配信（限定公開）をし、保護者の反応も良かったことから、今後、積極的に活用できる手法であると感じた								
事業の実施状況を踏まえた課題	避難所運営マニュアル作成の機運が今一つ進まないこと、男女共同参画の視点でマニュアル作成と言われても重要度が低いと感じられていることが挙げられる。このような中で講座実施されたコミュニティから他のコミュニティへの波及効果を期待するが、実行力が伴うようになるためには、手立てが弱いと考える								

17		数 値 目 標						
担当課	市民活動推進課(生涯学習課)		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2事業計画	家庭の中だけでの子育てではなく、地域活動において老若男女が関わる社会を目指し、家庭・地域・学校の連携をすすめるため、人や資源をつなぐ役割をする「地域コーディネーター」を養成しながら、活動の拠点となる「地域学校協働本部」を市内に増やしていく。							
R2事業計画に関する具体的な目標	学校やコミュニティへ、事業を推進していくための理解が得られるように呼び掛けていく。1中学校区、5小学校区での「地域学校協働本部」の活動を目指す。							
R2事業実績	地域コーディネーター養成塾では初級編と中級編を開催し、延べ99名の参加があった。すでに地域学校協働本部で活動している人にも改めて学習する機会を設け、知識のアップデートを促した。							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	市内1中学校区、5小学校区において子どもたちの学びの場での支援を実施することができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	コロナ禍において、開催方法の検討が必要（オンラインなど）							

18		数 値 目 標						
担当課	図書館		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2事業計画	①男女共同参画週間に併せて特設展を開催し、関連本の展示、貸出を行う。 ②男女共同参画に関する図書等の充実を図り、より啓発できるような図書を精選し、貸出を促進する。							
R2事業計画に関する具体的な目標	①男女共同参画週間に併せて特設展を開催し、関連本の閲覧及び貸出を促す。 ②男女共同参画に関する図書等の情報収集を行い、魅力ある関連資料の購入、収集を図る。							
R2事業実績	男女共同参画週間に併せ、男女共同参画週間の標語「そっか。いい人生は、いい時間の使い方なんだ」「ワクワク・ライフ・バランス」をテーマに市内3図書館で6/16～6/28の期間、特別展として関係する本の展示、貸出を行った。							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	図書がすぐ目に触れる場所でテーマ展示を行うことで、気軽に男女共同参画に関する図書に触れる機会を提供することができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	男女共同参画週間では、なるべくテーマにあわせた小説や絵本も展示し、より親しみやすく借りやすいコーナー作りに努めたい。							

目標2 男女共同参画を推進する教育、学習の充実

<p>《目指すまちの姿》 家庭、学校、地域において、子どもから大人まで、男女共同参画や自分らしく主体的に生きていくことの大切さを学ぶ機会が充実しています。そして、子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域においても、男女共同参画の意識を持つ大人たちからの声かけや働きかけにより、男女が協力して家庭生活を築くことや社会へ参画していくことの重要性について理解を深めながら成長しています。</p>
--

<p>施策番号</p>	<p>【3】 男女共同参画の推進に向けた学習機会の提供</p>
-------------	---------------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B⇒ B	今年度は「避難所運営時の意識」について複数のコミュニティでセミナーを実施し、モデル保育所ではコロナ禍により講演会をSNSにより保護者に配信するなどの工夫しながらの啓発活動であったが、反応も良く今後も活用できると思うし、このような学習機会の提供を継続していくことで、男女共同の意識付けが市民の中に広がってきていると考える。
市民活動推進課長(R2生涯学習課)	B⇒ B	家庭、地域住民等と学校が相互に連携し、子どもの学び、成長を支援する「地域学校協働活動」を推進するための連携調整の役割を担う「地域コーディネーター」の計画的な養成により、当活動を組織的に行う体制が拡充していることから、当該評価とした。
図書館長	B⇒ B	男女共同参画推進週間には、その年のテーマに合わせて関連する図書資料を展示し啓発に努めることができた。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評を参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

- A : 目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B : 目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C : 目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。